

新市誕生 10 周年記念事業

ゆめ・みらい 会議

ひやくにんかいぎ

教育・子育て支援・文化分科会

教育・子育て支援グループ からの提言

テーマ： 楽しい放課後を子どもたちに

—地域の力で学童保育の充実とアフタースクール開校を—

☆ メンバー ☆

浅井宏美 嵐口みどり 石神伊佐男 伊藤さか江

伊藤 巧 大石 薫 大塚裕子 岡田宏司

小松直美 杉本秀子 杉本真美 曾根龍夫

西村やえ 一言和子 松村裕子 渡邊俊晴

目 的

『島田市のみらい』を担う全ての子どもたちの放課後に、より良い居場所をつくりあげていく。

1 人材バンクを見直そう

1.1 学童保育を支援する 人材の情報や活用を一元管理する人材バンクを新たに作る。

まずは多くの方がこの取り組みに賛同・登録して頂く方法を考えた。登録管理する方法として、以下の通り提案する。

- ・支援が期待できる人たちを、候補者として名簿管理する。
- ・候補者に対し直接協力をお願いし、協力内容別に登録する。
区分例：プログラム講師 子ども見守り イベント補助 学校クラブ活動指導 学習援助等
- ・グループ単位での登録も可能とする。
- ・大学に学習支援のための学生紹介をお願いする。
- ・地元企業に人的支援をお願いするとともに、企業へのインセンティブも配慮する。
- ・学童施設からの依頼と提供支援を調整する。
- ・支援報酬額、損害保険等条件は、別途検討する。

1.2 支援候補者について（例）

- ・生涯学習講師及び受講者（趣味・特技）
- ・いきいきクラブ員（伝統的な遊びや芸能）
- ・地域見守り隊員
- ・教員 OB、公務員 OB
- ・百人会議経験者（エコ、防災関連等）
- ・社協ボランティア講座受講者
- ・地域役員経験者

など、多分野に渡る多くの人材が必要だと考える。

立候補はもちろん、推薦等も受け入れ、より多くの人材を発掘する事で、地域全体で「地域子ども達は地域で守る」の意識を根付かせる事にも繋がるのではないだろうか。

個人情報保護法等にも配慮し、相互理解の上人材バンクが設立出来ることを希望する。

2 学童保育の活動の幅を広げるための基金をつくる

学童保育の運営資金は現状維持で手いっぱいとする。そこで現状以上の事をやるにあたり、新しく資金が必要である。その資金の捻出法を下記の通りとする。

- ・基金条例により、地元企業、地元有志・団体の寄付、賛助金を仰ぐとともに、クラウドファンディング等のネットも活用し、学童保育支援のための資金を募集、基金をつくる。集まった資金により、現状以上の学童保育の活動の幅を広げていくことに繋がる。また地域の人達を巻き込む事で、地域全体で子育てが出来る。

3 学校を活用しよう

3.1 学校の施設を、学童保育の内容充実のため開放、活用を促していく。

子ども達の生活環境上、通学している学校校舎を使う事が効率的かつ保護者も安心できると考えるため、以下の提案をする。

- ・空き教室をはじめ、理科室等の特別室やプール、体育館も、学童保育のために開放し、活動内容を多様なものにしていく。
- ・学校施設を地域の拠り所としていく。
- ・学校教職員との連携を強化していく。

4 学童保育を支えよう

4.1 地域力で学童保育の内容充実を図っていく

指導員の人員不足等、学童保育の運営については課題がある。その課題の解決の糸口となるような下記の提案をする。

- ・人材バンクを通じて、地域、企業の人々が、その知識や特技を伝えたり、企業の話や保育に関わったりしながら、学童保育を支え、内容の充実を図っていく。支援先は、一施設に限定せず他の施設にも関わっていくようにする。
- ・放課後NPOアフタースクールの開校を応援し、プログラム運営のモデルとしていく。
- ・学校、家庭以外の地域の大人との接触を通し、地元意識を育てる。
- ・子ども達に将来の職業選択の幅を広げさせる と同時に、支援者に、やりがい・生きがいを提供する。
- ・すべての児童を受け入れられる体制を構築していく。
- ・将来的には、各地域に児童センター的役割を持つ施設を設けたい。

5 あいさつ・声掛け運動を広げよう

5.1 声掛け運動を広め、百人会議の全メンバーが『声掛け運動実行章（バッジ）取得』。地域みんなで子育てをしよう。

地域全体での子育てには、日常のお互いに交わすあいさつ、声掛けが大切と考える。今一度、『あいさつ・声掛け運動』を広げ、地域で子育てをしながら、地域づくりにもつなげていく活動を勧めたい。



- ・既存の「声掛け運動実行章」とは違い、市独自のバッジを作成し、PTA、地域コミュニティ、自治会等に働き掛け、運動を広げていく。

『島田市の未来』は、子どもたちに託されています。

子どもたちにより良い教育環境を・・・

ご一覽、ありがとうございました。

教育・子育て支援グループ 一同